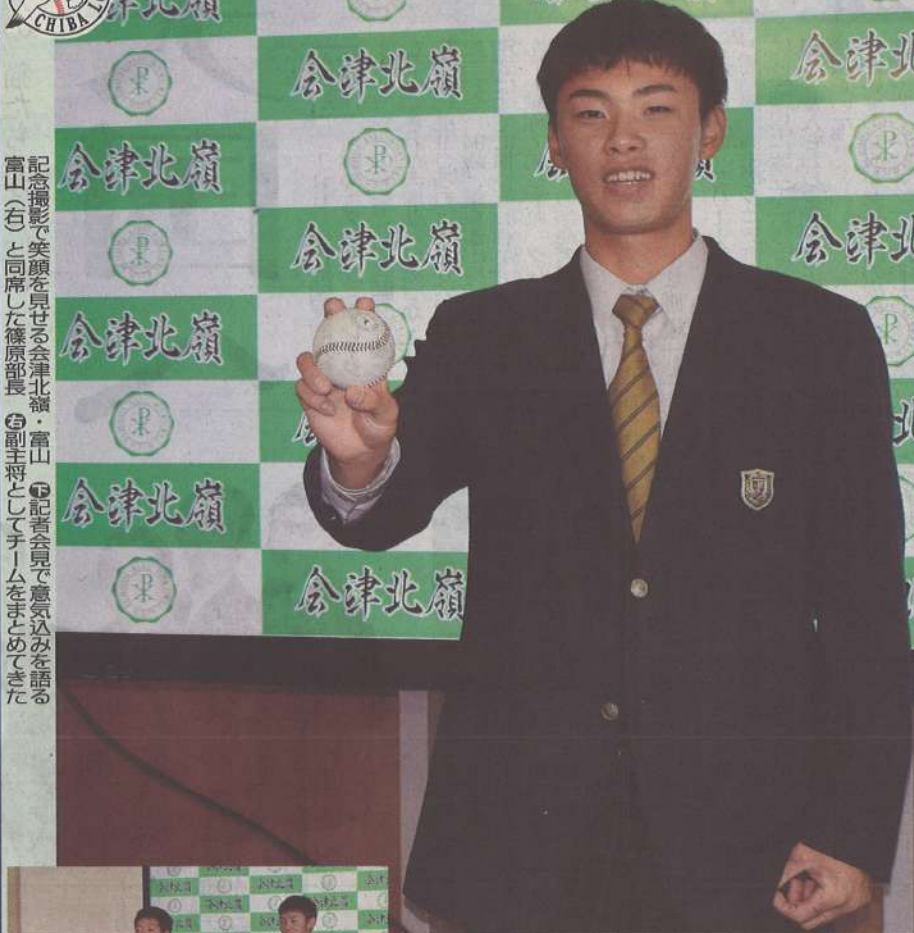


ロッテ育成5位・会津北嶺の捕手「東北バッテリー」熱望



記念撮影で笑顔を見せる会津北嶺・富山(右)と同席した篠原部長(左)副主将としてチームをまとめた

富山 朗希と組みたい



NPBドラフト会議から一夜明けた27日、ロッテから育成5位指名を受けた会津北嶺高の富山紘之進捕手(18)が、会津若松市内の同校で記者会見した。創部6年目の同校から初のプロ野球選手誕生。将来性あふれる大型捕手は日本を代表する165センチ右腕・佐々木朗希投手(21)との「東北バッテリー」の実現を目指し、さらなる成長を誓った。

創部6年目「プロ1号」

吉報から一夜明け、富山は「選ばれた時は本当にうれしかった。周りの人に支えられ、家族がこゝまで育ててきてくれた。感謝の思いでいっぱいです」と改めて喜びをかみしめた。学校関係者によると、会津地区の高校からドラフト指名選手が出るのは55年ぶり、会津若松市内の高校からは初の快挙という。



記者会見で富山(右)と篠原部長(左)が話している様子

この町からプロに行くので応援していただけたらうれしいです」
 ロッテでは「東北バッテリー」の実現に意欲を見せる。球界を代表する好投手・佐々木朗希は岩手県出身。「160キロ以上の球を受ける機会はないかなかないので受けてみたい。球のイメージは少しはまし」と富山。そのために「トップレベルの選手の手球を受けるには、まずはキャッチング。しっかりと自分の形をつくってバッテリーを組めるようにしたい」と目を輝かせた。

本日の勝負はこれから始まる。「育成期間をどれだけ大事にできるか。まずは支配下登録を目指したいです」。新たな目標達成に意気込む18歳が、会津から夢舞台へと羽ばたいていく。(後藤 光志)

3年間指導した篠原部長感謝無量
 ○富山を3年間指導してきた篠原部長(35)は「関係者の方、球団の方、紘之進への感謝の気持ちが大きいです」と目を細めた。

入学当初は「これまでの選手になるとは思っていなかった」と言い「愚直さや向上心が、3年間の伸びにつながった。守備がワリなので、そこで信頼されてチームに貢献してほしい」と期待した。